

						課長				設計者		審査者	
--	--	--	--	--	--	----	--	--	--	-----	--	-----	--

金 抜

令和8年度 勝浦町簡易水道西岡地区及び山田区域旧施設解体工事

実 施 設 計 書

工 事 費	区 分	設 計 金 額	請 負 金 額	摘 要	
	実 施 設 計			(請負比率 )	
	変 更 設 計				
	差 引 増 減				
工 事 概 要	実 施 設 計		変 更 設 計		変 更 理 由

## 設計金額・請負金額対照内訳表

	設 計 金 額		請 負 金 額	
			( 請負比率 )	
実 施 設 計	工 事 価 格		請負工事価格	
	消費税相当額		消 費 税 額	
	設 計 金 額		契 約 金 額	
変 更 設 計	工 事 価 格		請負工事価格	
	消費税相当額		消 費 税 額	
	設 計 金 額		契 約 金 額	
増 減 額	工 事 価 格		請負工事価格	
	消費税相当額		消 費 税 額	
	設 計 金 額		契 約 金 額	

項 目 名	諸 条 件
年 度	
工 事 名	令和8年度 勝浦町簡易水道西岡地区及び山田区域旧施設解体工事
積 算 区 分	当初
適 用 工 種	構造物工事（浄水場等）
共 通 補 正	補正無し
現 場 補 正	補正無し
前 払 補 正	補正なし
契 約 補 正	ケース1：発注者が金銭的保証を必要とする場合
イ メ ー ジ ア ッ プ	計上しない
事 務 所	徳 島
地 区	徳島東部1
単 価 適 用 年 月	令和 8年 5月
歩 掛 年 月	令和 7年 7月
小 型 車 割 増	無し
経 費 計 算	単独工事

令和8年度

勝浦町簡易水道西岡地区及び山田区域旧施設解体工事

仕様書

令和8年6月

勝浦町役場上下水道課

## 第1章 総則

本仕様書は、勝浦町上下水道課（以下「勝浦町」という。）が発注する旧西岡配水池解体工事（以下「本工事」という。）に適用する。

1. **工事名称** 勝浦町簡易水道西岡地区及び山田区域旧施設解体工事

2. **工事場所** 徳島県勝浦郡勝浦町沼江西岡地内

3. **工事期間** 契約締結日から令和8年 月 日まで

### 4. 施設概要

#### ①旧西岡配水池

1) 施設名称 旧西岡配水池

2) 敷地面積 29.2m<sup>2</sup>

3) 使用終了 令和8年3月末

4) 構造 鉄筋コンクリート造

5) 容量 52.5m<sup>3</sup>

6) その他付帯設備等 薬品倉庫、計装機器類

#### ②旧西岡受水槽

1) 施設名称 旧西岡受水槽

2) 敷地面積 0.7m<sup>2</sup>

3) 使用終了 令和8年3月末

4) 構造 鉄筋コンクリート造

5) 容量 0.5m<sup>3</sup>

#### ③旧西岡送配水管路

1) 材質 VP PE

2) 延長 649.2m(PE40 28.2m PE20 60.5m PE30 74.5m VP 75 480.0m)

3) 使用終了 令和8年3月末

### 5. 一般共通事項

#### 1) 適用範囲

本工事は、請負契約書、本仕様書、関係法令等に基づき施工すること。本仕様書及び添付図面は、工事の基本的内容について定めるものであり、本仕様書に明記されていない事項であっても、工事の目的及び施工上当然必要と思われるものについては、勝浦町の指示に従い、受注者の負担と責任において達成しなければならない。

#### 2) 施工中の安全確保及び環境保全

工事の施工にあたっては、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう周辺環境の保全に努め事故等が発生しないよう十分注意すること。また、作業者の健康、安全管理及び作業環境保全に努めること。

#### 3) 許認可申請等

全体作業計画書等、関係官庁への許認可申請、報告、届出等の必要がある場合には、その手続きは受注者の経費負担により速やかに行い勝浦町に報告すること。また、工事範

困において勝浦町が関係官庁への許可申請、報告、届出を必要とする場合、受注者は書類作成等について協力すること。

4) 疑義

受注者は発注仕様書又は工事施工中に疑義が生じた場合は、書面にて勝浦町と協議し、その指示に従い、遺漏のないよう工事を行うものとする。

5) 工事時間

工事時間は、原則として日曜日、祝日を除く午前 8 時 30 分から午後 5 時 00 分までとする。なお、夜間・休日等で中断が困難な作業、重機の搬出入等でやむを得ない作業は、事前に勝浦町の承諾を得て作業することができる。ただし、緊急の場合はこの限りではない。

6) 報告・検査

(1) 施工の立会い検査等 あらかじめ勝浦町の立会いが指定された工事内容の区切り段階には、現場代理人は適切な時期に勝浦町に対して立会い検査請求を行うものとし、立会い日時については、勝浦町の指示を受けるものとする。また、地権者等関係者の立会いが必要な場合、受注者は書類作成等について協力すること。

(2) 検査報告書等の提出受注者は、本工事着手前から終了までの法令で定められた記録・報告書の他、勝浦町と協議により定められた計画書、調査報告書等の図書を整理して提出すること。

7) 騒音・振動対策

本工事は関係法令に基づき、発生する騒音・振動の規制基準を満たす対策を講ずるとともに工事に使用する建設機械は低騒音型機械を使用すること。

8) 災害防止

工事中は、異常沈下、法面の滑動その他による災害が発生しないよう、災害防止上必要な処置を行うこと。

9) 契約不適合責任 本工事起因の地盤沈下、撤去未済物、汚染等により、不都合が生じた場合は、全て受注者の負担にて、これを改善しなければならない。

10) 秘密の保持

受注者は、本工事を行うことにより知り得た事項、情報を勝浦町の許可なしに他の調査等に使用又は公表してはならない。

11) 工事工程表の作成

受注者は契約後、工事工程表を作成し、勝浦町の承諾を受けること。

12) 技術管理

受注者は、工種ごとに工事進捗上十分な員数の労務者を計画的に配置し秩序正しい作業をさせ、熟練を要する工種の施工については、相当の経験を有する者に作業をさせること。

## 第2章 工事概要

### 1. 解体・整備に関する性能発注について

仕様書に示す要求事項は、勝浦町が要求する機能及び性能を規定するものである。よって、解体工事の具体的な工法、設計内容について、仕様書に記載のない限り、受注者がその提案を行うものとする。仕様書に記載のある事項については、これを遵守して提案を行うこと。

### 2. 工事範囲

解体工事 1 式

## 第3章 提出図書類

### 1) 施工承諾図書（工事前に承認を得るもの）

- (1) 全体施工計画書
- (2) 各工種の施工計画書
- (3) 実施工程表
- (4) 廃棄物処理・処分計画書
- (5) 下請承認願書
- (6) 請負代金内訳書
- (7) 内訳明細書
- (8) 建設業退職金共済組合掛金収納書等
- (9) その他勝浦町が必要と認めるもの

※上記施工承諾図書は、勝浦町が承諾後に着工となる。

### 2) 各種報告書

- (1) 工事報告書（工事進捗、廃棄物搬出状況、工事状況写真、週間工程表、その他）
- (2) アスベスト事前調査報告書
- (3) アスベスト除去工事完了報告書（必要に応じて）
- (4) 工事日報、月報
- (5) 産業廃棄物処理委託契約書及びマニフェストの写し
- (6) 打合議事録・協議書
- (7) 工事進捗状況書
- (8) 各種検査願（中間検査、出来高検査、竣工検査等）
- (9) その他勝浦町が必要と認めるもの

### 3) 竣工図書（工事完了に際して提出する図書）

- (1) 各種工事施工計画書（変更届含む）
- (2) 各種工事実施報告書（調査、解体、数量調書、発生材処理・処分等）
- (3) 工事写真（着工前、工事中、完了後）
- (4) 残置物記録書
- (5) 竣工図（A1 版、縮小 A3 版、PDF データ）

(6) その他必要な図書等

#### 4) 工事関係書類様式集

徳島県様式による。

### 第4章 関係法令等

本工事の施工にあたっては、下記の関係法令等を遵守すること。

- 1) 環境基本法
- 2) 大気汚染防止法
- 3) 悪臭防止法
- 4) 騒音規制法
- 5) 振動規制法
- 6) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 7) 資源の有効な利用の促進に関する法律
- 8) 労働安全衛生法
- 9) 建築基準法
- 10) 消防法
- 11) 建設業法
- 12) 建設廃棄物処理ガイドライン
- 13) 建設副産物適正処理推進要綱
- 15) 建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
- 16) その他関係法令・通達及び規格

### 第5章 解体工事

本工事は、設備解体を行うものであり、内容は以下のとおりである。解体における発生材は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）により、適切に処分すること。

#### 1. 仮設工事（解体）

- 1) 工事に必要となる解体対象施設及び現場周辺の調査を行うこと。
- 2) 工事用ユーティリティ費用については、すべて受注者の負担とすること。
- 3) 現場事務所、作業員詰所及び機材置場などについては、監督職員と協議し、敷地状況、工事条件などを十分に把握し適切な位置に設置すること。
- 4) 工事車両の通行における安全管理のため、必要に応じて交通誘導員を配置すること。

#### 2. 解体工事

- 1) 解体廃棄物は、廃棄物処理法に基づき分別し、適切に処分すること。
- 2) 止水栓、薬品タンク等は撤去処分すること。
- 3) 火災防止のため、原則としてガス切断は行わないものとする。やむを得ず使用する場合は、

勝浦町の承諾を得たうえで、消火器等を設置し行うこと。

- 4) 水槽の山側はできるかぎり埋め戻し土により水槽の高さまで盛土し、平坦な状態にすること。

### 3. 既設管撤去工事

- 1) 現地状況を調査し、既存地形に近い形に復元すること。
- 2) 合成樹脂管を撤去すること。

### 4. 発生材仮置場及び保管方法

発生材は、廃棄物処理法の規定に基づき適正に運搬・処分すること。処分まで場内に一時保管する場合は関係法令に基づき適正に保管すること。

### 5. 発生材処分

#### 1) 発生材の処分方法

- (1) 解体に伴い発生した建築副産物は、種類に応じて分別し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、その他関係法令に従い、可能な限り再利用・再生利用・再資源化に努めるものとする。
- (2) 建設副産物処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」により勝浦町の確認を受けること。
- (3) 建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者（受注者）は、処分業者と建設副産物処理委託契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書を勝浦町に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。
- (4) 収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別途、収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結すること。
- (5) 有価物の処分については、建設副産物処理調書、受入伝票、処分量がわかる領収書等を提示し、勝浦町に確認を受けること。
- (6) 建設廃棄物については、建設廃棄物処理マニフェストの写しを勝浦町へ提出すること。電子マニフェストシステムを利用した場合は、勝浦町の指示によること。

### 6. アスベスト事前調査

- 1) アスベストの事前調査を実施し、調査結果を勝浦町に報告すること。また、調査結果を作業従事者等本工事の関係者に説明し、内容を記載した書面を配付するとともに、作業場の見やすい場所に表示すること。
- 2) 分析調査を行う場合は、別途協議する。

### 7. 解体工事表示板の設置

- 1) 勝浦町が指定する位置に1箇所設置する。
- 2) 表示時期は、解体着工時から解体終了時までとする。

## 第6章 その他

### 1. 住民対応

- 1) 苦情等に対する説明

本工事に係るものは、受注者が対応し、説明等により苦情の解消を講じ、勝浦町へ報告すること。

## 2) 情報提供

受注者は、本工事に際し、掲示板等を用いて工事状況を掲示し、地元周辺住民の信頼と理解、協力を得られるように情報提供に努めること。また、勝浦町が行う情報提供や住民説明会を開催する場合はこれに協力すること。

## 2. 事前・事後調査

本施設敷地の現況調査（事前、事後）を行うこと。また、事後調査の結果、影響が生じた場合は、速やかに受注者の負担において現況復旧すること。

## 3. 進入路の管理

工事関係車両等による工事現場周辺道路汚損防止に努め、汚損箇所は遅滞なく、補修清掃を行うこと。

## 4. 工事による汚損、破損

本工事範囲外の部分を汚損した場合は、受注者の責任において速やかに原形に復旧すること。

## 5. 災害、公害等の発生時の処置

工事期間中、災害、又は公害が発生した場合は、速やかに適切な処置をとり、直ちにその原因、経過、被害の状況等について口頭及び文書で勝浦町に報告すること。

## 6. 保険の加入

受注者は、第三者に対する事故等に対して、自己の負担にて保険に付し、その写しを勝浦町に提出すること。

## 7. 施工機械の選定

解体等に使用する建設機械は、低騒音型のものとし、その他使用する機械器具は、騒音、振動及び塵埃等の発生が少なく安全性の高いものを選定し、周辺に対する影響のないよう努めること。

## 算定方法による算定額明細書

費目	種目別	施設別	工種別	単位	算定方法による算定額				備考
					変更前		変更後		
					数量	金額(円)	数量	金額(円)	
本工事費									
	直接工事費	配水池取壊		式	1.0				
		受水槽取壊		式	1.0				
		既設管撤去工事		式	1.0				
		仮設費		式	1.0				
	直接工事費計								
		処分費計							
		対象外金額							
	共通仮設費（率分）								
	共通仮設費計								
	純工事費								
		現場管理費							
	工事原価								
		一般管理費等							
	工事価格								
		消費税相当額							



配水池取壊

# 工事設計書

## 1. 設計図面との対象番号

(1) 一般平面図

(2) 工種別構造図

## 2. 工事計画概要





受水槽取壊

# 工事設計書

## 1. 設計図面との対象番号

(1) 一般平面図

(2) 工種別構造図

## 2. 工事計画概要



既設管撤去工事

# 工事設計書

## 1. 設計図面との対象番号

(1) 一般平面図

(2) 工種別構造図

## 2. 工事計画概要

工 種	名 称	形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
河川内撤去										
	ホ°リフレン撤去管吊り上げ積込	φ 40mm	m	28.2						第19号施工代価表
	ホ°リフレン撤去管吊り上げ積込	φ 20mm	m	60.5						第20号施工代価表
	ホ°リフレン撤去管吊り上げ積込	φ 30mm	m	60.5						第21号施工代価表
	撤去管吊上げ積込み(塩ビ°管)	φ 75	m	480.0						第17号施工代価表
	既設管撤去切断(ホ°リフレン管)	φ 40	口	5.0						第14号施工代価表
	既設管撤去切断(ホ°リフレン管)	φ 20	口	10.0						第15号施工代価表
	既設管撤去切断(ホ°リフレン管)	φ 30	口	12.0						第16号施工代価表
	人力運搬(運搬°取卸し)		m3	48.8						第3号施工P単価表
	中間処理費 廃プラ	旭鉦石(株)	t	1.1						第5号施工代価表
	土砂運搬費 (DT4t積)	L=13.0km以下	m3	48.8						DID区間なし 良好 バックホリ0.28m3 (0.20m3) 第12号施工代価表
	小 計									
畑内撤去										
	撤去管吊上げ積込み(塩ビ°管)	φ 50	m	88.0						第18号施工代価表



仮設費

# 工事設計書

1. 設計図面との対象番号

(1) 一般平面図

(2) 工種別構造図

2. 工事計画概要



第 1 号 代 価 表		標識柱・基礎撤去			単柱式(基礎含む)			1 基 当 り (円未満切捨)		
		名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後		
数 量	単 価				金 額	数 量	単 価	金 額		
標識柱撤去 路側式 基礎含む	単柱式	基	1.0							小規模補正有 市場単価【手間のみ】
諸 雑 費		式	1.0							
合 計		基	1.0	当り						
単 価		基	1.0	当り						

名 称		品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
第 2 号 代 価 表				構造物取壊し運搬処分(複合)			鉄筋構造物 機械施工			100 m3 当り (円未満切捨)
構造物とりこわし工 鉄筋構		機械施工	m3	100.0						昼間単価 時間的制約:無
合 計			m3	100.0	当り					
単 価			m3	1.0	当り					

名 称		品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
第 3 号 代 価 表				構造物取壊し運搬処分			鉄筋構造物 機械施工			100 m3 当り (円未満切捨)
構造物とりこわし工 鉄筋構		機械施工	m3	100.0						昼間単価 時間的制約:無
合 計			m3	100.0	当り					
単 価			m3	1.0	当り					

名 称		品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
第 4 号		代 価 表		中間処理費 コンクリート塊(鉄筋)			旭鉦石(株)			
							1 m3 当り (円未満切捨)			
中間処理費 コンクリート塊(鉄筋)		旭鉦石(株)	t	2.5						
合 計			m3	1.0	当り					
単 価			m3	1.0	当り					

第 5 号 代 価 表		中間処理費 廃プラ			旭鉦石(株)			1 t 当り (円未満切捨)	
名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
中間処理費 廃プラ	旭鉦石(株)	t	1.0						50,000円/t～
合 計		t	1.0	当り					
単 価		t	1.0	当り					

第 6 号 代 価 表		標識柱撤去			400kg未満/基			1 基 当 り (円未満切捨)	
名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
標識柱撤去 片持式	400kg未満	基	1.0						小規模補正有 市場単価【手間のみ】
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		基	1.0	当り					
単 価		基	1.0	当り					

第 7 号 代 価 表 <span style="float: right;">遠心力鉄筋コンクリート管撤去工      φ900</span>									
10 m 当り (円未満切捨)									
名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
配 管 工		人							
普通作業員		人							
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		m	10.0	当り					
単 価		m	1.0	当り					

第 8 号 代 価 表		小型バックホウ掘削積込			山積0.13m3(平積0.10)			100 m3 当り (円未満切捨)	
		BH排対型第2次基準							
名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
土木一般世話役		人							
普通作業員		人							
バックホウ運転 クローラ型	山積0.13m3平積0.10m3	日							排出ガス対策型(2次) 第3号機械運転表
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		m3	100.0	当り					
単 価		m3	1.0	当り					

第 9 号 代 価 表		管路埋戻工(機械埋戻)			山積0.13m3(平積0.10)			100 m3 当り	
		BH排対型第2次基準			埋戻材料無			(円未満切捨)	
名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
土木一般世話役		人							
普通作業員		人							
バックホウ運転 クローラ型	山積0.13m3平積0.10m3	日							排出ガス対策型(2次) 第3号機械運転表
タンパ運転	60~80kg	日							第4号機械運転表
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		m3	100.0	当り					
単 価		m3	1.0	当り					

第 10 号 代 価 表		管路埋戻工(機械埋戻)			山積0.13m3(平積0.10)			100 m3 当り (円未満切捨)	
		BH排対型第2次基準			再生クラッシュラン RC-40				
名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
土木一般世話役		人							
普通作業員		人							
バックホウ運転 クローラ型	山積0.13m3平積0.10m3	日							排出ガス対策型(2次) 第3号機械運転表
タンパ運転	60~80kg	日							第4号機械運転表
再生クラッシュラン RC-40		m3	126.0						
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		m3	100.0	当り					
単 価		m3	1.0	当り					

名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
ダンプトラック運転	2 t 積級	日							オノロード・ディーゼル 第1号機械運転表
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		m3	10.0	当り					
単 価		m3	1.0	当り					

第 11 号

# 代 価 表

鉄筋C o 塊運搬費 (DT2t積)

L=12.0km以下

DID区間なし 良好

バックホウ0.13m3(0.10m3)

10 m3 当り  
(円未満切捨)

名 称		品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
第 12 号 代 価 表				土砂運搬費 (DT4t積) DID区間なし 良好			L=13.0km以下 バックホウ0.28m3(0.20m3)			10 m3 当り (円未満切捨)
ダンプトラック運転		4 t 積級	日							オンロード・ディーゼル 第2号機械運転表
諸 雑 費			式	1.0						
合 計			m3	10.0	当り					
単 価			m3	1.0	当り					

名 称		品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
第 13 号		代 価 表		既設管撤去切断(塩化ビニル管)			呼び径 50mm			1 口 当 り (円未満切捨)
特殊作業員			人							
普通作業員			人							
諸 雑 費			式	1.0						
合 計			口	1.0	当り					
単 価			口	1.0	当り					

第 14 号

# 代 価 表

既設管撤去切断(ポリエチレン管)

φ40

1 口 当 り  
(円未満切捨)

名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
特殊作業員		人							
普通作業員		人							
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		口	1.0	当り					
単 価		口	1.0	当り					

第 15 号

# 代 価 表

既設管撤去切断(ポリエチレン管)

φ20

1 口 当 り  
(円未満切捨)

名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
特殊作業員		人							
普通作業員		人							
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		口	1.0	当り					
単 価		口	1.0	当り					

第 16 号

# 代 価 表

既設管撤去切断(ポリエチレン管)

φ30

1 口 当 り  
(円未満切捨)

名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
特殊作業員		人							
普通作業員		人							
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		口	1.0	当り					
単 価		口	1.0	当り					

第 17 号

# 代 価 表

撤去管吊上げ積込み(塩ビ管)

φ75

10 m 当り  
(円未満切捨)

名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
特殊作業員		人							
普通作業員		人							
合 計		m	10.0	当り					
単 価		m	1.0	当り					

名 称		品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
第 18 号		代 価 表		撤去管吊上げ積込み(塩ビ管)			φ 50			
							10 m 当り (円未満切捨)			
特殊作業員			人							
普通作業員			人							
合 計			m	10.0	当り					
単 価			m	1.0	当り					

第 19 号

# 代 価 表

ポリエチレン撤去管吊り上げ積込

φ 40mm

10 m 当り  
(円未満切捨)

名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
特殊作業員		人							
普通作業員		人							
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		m	10.0	当り					
単 価		m	1.0	当り					

第 20 号

# 代 価 表

ポリエチレン撤去管吊り上げ積込

φ 20mm

10 m 当り  
(円未満切捨)

名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
特殊作業員		人							
普通作業員		人							
合 計		m	10.0	当り					
単 価		m	1.0	当り					

第 21 号

# 代 価 表

ポリエチレン撤去管吊り上げ積込

φ 30mm

10 m 当り  
(円未満切捨)

名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
特殊作業員		人							
普通作業員		人							
合 計		m	10.0	当り					
単 価		m	1.0	当り					

第 1 号 機械運転表		ダンプトラック運転			2 t 積級			1 日 当 り (円未満切捨)	
		オノロト <sup>®</sup> ・ディーゼル							
名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
運転手 (一般)		人							
軽油	(1, 2号)	L							
ダンプトラック[オノロト <sup>®</sup> ・ディーゼル]	2t積級	供用							
ダンプトラック (タイヤ損耗)	積載重量 2 t	供用							
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		日	1.0	当り					
単 価		日	1.0	当り					

第 2 号 機械運転表		ダンプトラック運転			4 t 積級			1 日 当 り (円未満切捨)	
		オノロト <sup>®</sup> ・ディーゼル							
名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
運転手 (一般)		人							
軽油	(1, 2号)	L							
ダンプトラック[オノロト <sup>®</sup> ・ディーゼル]	4t積級	供用							
ダンプトラック (タイヤ損耗)	積載重量 4 t	供用							
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		日	1.0	当り					
単 価		日	1.0	当り					

第 3 号

# 機械運転表

バックホウ運転 クローラ型

山積0.13m3平積0.10m3

排出ガス対策型(2次)

1 日 当 り  
(円未満切捨)

名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
運転手(特殊)		人							
軽油	(1, 2号)	L							
小型バックホウ[クローラ型]	山積0.13m3(平積0.10)	供用							[標準型] 排出ガス対策型(2次)
諸 雑 費		式	1.0						
合 計		日	1.0	当り					
単 価		日	1.0	当り					

第 4 号		機械運転表			タンパ運転			60～80kg			1 日 当 り (円未満切捨)	
名 称	品 種 形 状 寸 法	単 位	変 更 前			変 更 後			備 考			
			数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額				
特殊作業員		人										
ガソリン	レギュラー	L										
タンパ	60～80kg	供用										
諸 雑 費		式	1.0									
合 計		日	1.0	当り								
単 価		日	1.0	当り								

# 施工パッケージ単価表

令和07年04月施工P基準

第 1 号 施工P単価表	法面整形				
整形箇所:盛土部; 法面締固めの有無:有り; 現場制約の有無:有り; 土質:砂及び砂質土、粘性土;					
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
タンパ 60～80kg			タンパ 60～80kg		
普通作業員			普通作業員 8時間当り		
土木一般世話役			土木一般世話役 8時間当り		
特殊作業員			特殊作業員 8時間当り		
ガソリン レギュラー			レギュラーガソリン スタンド		
パッケージ単価  1.00 m2 当り				標準単価	機械構成比: % 労務構成比: % 材料構成比: % 市場構成比: %

# 施工パッケージ単価表

令和07年04月施工P基準

第 2 号 施工P単価表	石積(練石)				
石の種類:雑割石; 直高:1.0m以上1.5m以下; 胴込・裏込コンクリート規格:高B 18-8-40 W/C≤60%; 裏込材規格:各種; 小型車割増:小型車割増無;					
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ[クローラ型クレーン付]1.7t吊 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2)			バックホウ(貸貸)クレーン付 容量0.28(0.2)m <sup>3</sup>		
排出ガス対策型 普通作業員			普通作業員 8時間当り		
運転手(特殊)			特殊運転手 8時間当り		
石 工			石工 8時間当り		
特殊作業員			特殊作業員 8時間当り		
生コンクリート 高炉B 18-8-40			生コンクリート(高炉) 18-8-25WC60		
W/C≤60%					
軽油 (1,2号)			軽油 パトロール給油 小型ローリー		
割栗石 150~200mm			再生クラッシュラン 40~0mm		

# 施工パッケージ単価表

令和07年04月施工P基準

第 2 号 施工P単価表	石積(練石)				
石の種類:雑割石; 直高:1.0m以上1.5m以下; 胴込・裏込コンクリート規格:高B 18-8-40 W/C≤60%; 裏込材規格:各種; 小型車割増:小型車割増無;					
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
パッケージ単価  1.00 m2 当り				標準単価	機械構成比: % 労務構成比: % 材料構成比: % 市場構成比: %

# 施工パッケージ単価表

令和07年04月施工P基準

第 3 号 施工P単価表	人力運搬(運搬~取卸し)				
換算距離:60m以下;					
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員			普通作業員 8時間当り		
パッケージ単価  1.00 m3 当り				標準単価	機械構成比 : % 労務構成比 : % 材料構成比 : % 市場構成比 : %

# 施工代価一覧表

令和 8/ 5 単価

No.	単価番号	名 称	規 格	単位	単 価	特殊製品費	摘 要
1	B0021580	標識柱・基礎撤去	単柱式(基礎含む)	基			
2	B0027320	構造物取壊し運搬処分(複合)	鉄筋構造物 機械施工	m3			
3	B0027320	構造物取壊し運搬処分	鉄筋構造物 機械施工	m3			
4	BQ000150	中間処理費 コンクリート塊(鉄筋)	旭鉦石(株)	m3			
5	BQ000150	中間処理費 廃プラ	旭鉦石(株)	t			
6	F9089	標識柱撤去	400kg未満/基	基			
7	P0050-15	遠心力鉄筋コンクリート管撤去工	φ 900	m			人力
8	P0200-00	小型バックホウ掘削積込	山積0.13m3(平積0.10)	m3			BH排対型第2次基準
9	P0201-00	管路埋戻工(機械埋戻)	山積0.13m3(平積0.10)	m3			BH排対型第2次基準 埋戻材料無
10	P0201-00	管路埋戻工(機械埋戻)	山積0.13m3(平積0.10)	m3			BH排対型第2次基準 再生クラッシュラン RC-40
11	P0202-01	鉄筋C o 塊運搬費 (DT2t積)	L=12.0km以下	m3			DID区間なし 良好 バックホウ0.13m3(0.10m3)
12	P0202-01	土砂運搬費 (DT4t積)	L=13.0km以下	m3			DID区間なし 良好 バックホウ0.28m3(0.20m3)
13	PN037-00	既設管撤去切断(塩化ビニル管)	呼び径 50mm	口			
14	PN038-00	既設管撤去切断(ポリエチレン管)	φ 40	口			
15	PN038-00	既設管撤去切断(ポリエチレン管)	φ 20	口			









配水池取壊				
名称	規格	算式	単位	数量
コンクリート取壊	頂盤	5.00 × 5.00 × 0.20	m3	5.00
	控除	- 0.28 × 0.20 (MH)	m3	0.06
	壁	+ 5.40 × 2.10 × 0.20	m3	2.27
	壁	+ 5.40 × 2.10 × 0.20	m3	2.27
	壁	+ 5.00 × 2.10 × 0.20	m3	2.10
	壁	+ 5.00 × 2.10 × 0.20	m3	2.10
	底盤	+ 5.80 × 5.80 × 0.20	m3	6.73
	小屋屋根	+ 0.83 × 0.73 × 0.08	m3	0.05
	小屋壁	+ 0.83 × 0.96 × 0.10	m3	0.08
	小屋壁	+ 0.83 × 0.96 × 0.10	m3	0.08
	小屋壁	+ 0.73 × 0.96 × 0.10	m3	0.07
	小屋壁	+ 0.73 × 0.96 × 0.10	m3	0.07
	控除	- 0.60 × 0.96 × 0.10	m3	0.06
			計	20.70
コン塊運搬費 (DT4t積)	バックホウ0.28m3 L=10.0km以下		m3	20.70
中間処理費	コンクリート塊		m3	20.70
標識柱・基礎撤去	単柱式 (基礎含む)		基	1.00
標識柱撤去	400kg未満/基		基	1.00
計装盤類撤去			式	1.00
小型バックホウ掘削積込			m3	10.00
管路埋戻工(機械埋戻)			m3	50.00
盛土材料			m3	50.00
法面整形			m2	100.00
産業廃棄物分析 アスベスト含有	定性分析 1481-1		検体	1.00



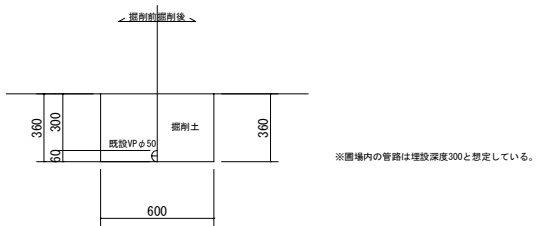
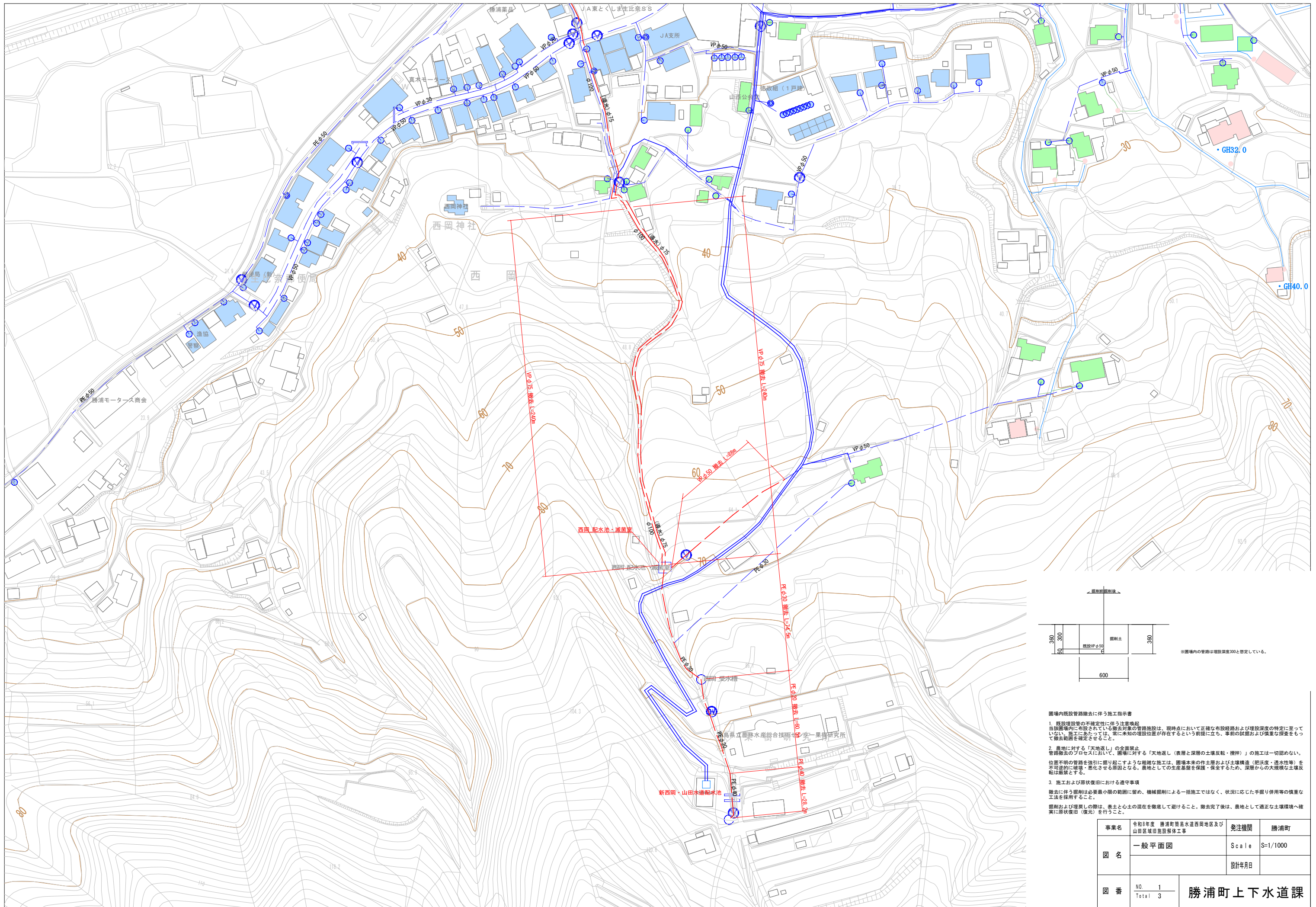


土工数量総括表(既設管撤去・昼間施工)

名 称	単位	1																合計
撤去管吊上げ積込み(塩ビ管) φ50	m																	88.000
既設管撤去切断(塩化ビニル管) 呼び径 50mm	m																	15.000
バックホウ掘削積込 山積0.13m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	19.008																19.008
管路埋戻工(機械埋戻) 山積0.13m <sup>3</sup> 再生クラッシュレン	m <sup>3</sup>	19.008																19.008
中間処理費 廃ブラ	t																	0.100
土砂運搬費 (DT4t積) L=13.0km以下	m <sup>3</sup>																	5.300
石積(練石)	m <sup>2</sup>																	5.000

土工事数量計算

対象となる構造物等	標準断面		標準掘削断面. 1	掘削延長	88.000	備考
	名称	単位	算式		数量	
舗装版切断 コンクリート	m	掘削延長 両側 0.000 × 0.000			0.000	
舗装版BH直接掘削・積込工 山積0.13m3 10cm < t ≤ 15cm	m <sup>2</sup>	掘削幅 掘削延長 0.000 × 0.000			0.000	
バックホウ掘削積込 山積0.13m3	m <sup>3</sup>	掘削幅	管天高 管外径 管底高 舗装厚		88.000	19.008
管路埋戻工(機械埋戻) 山積0.13m3 砂	m <sup>3</sup>	掘削幅	上砂高 管外径 下砂高 管断面積		0.000	0.000
管路埋戻工(機械埋戻) 山積0.13m3 掘削土	m <sup>3</sup>	掘削幅	掘削深 砂巻高 簡易舗装 管断面積		88.000	19.008
土砂運搬費 (DT4t積) バックホ0.28m3 L=13.0km以下	m <sup>3</sup>	BH床堀	BH埋戻			0.000
CON塊運搬費 (DT4t積) バックホ0.28m3 L=10.0km以下	m <sup>3</sup>	舗装掘削	舗装厚			0.000
中間処理費 コンクリート塊	m <sup>3</sup>	舗装掘削	舗装厚			0.000
中間処理費 建設汚泥	m <sup>3</sup>	係数	係数 舗装厚 切断長			0.000



**圏内既設管路撤去に伴う施工指示書**

1. 既設埋設管の不確定性に伴う注意喚起  
 当該圏内に布設されている撤去対象の管路施設は、現時点において正確な布設経路および埋設深度の特定に至っていない。施工にあたっては、常に未知の埋設位置が存在するという前提に立ち、事前の試掘および慎重な探査をもって撤去範囲を確定すること。

2. 農地に対する「天地返し」の全面禁止  
 管路撤去のプロセスにおいて、圏内に対する「天地返し（表層と深層の土壌反転・攪拌）」の施工は一切認めない。位置不明の管路を強引に掘り起こすような雑雑な施工は、圏内本来の作土層および土壌構造（肥力度・透水性等）を不可逆的に破壊・悪化させる原因となる。農地としての生産基盤を保護・保全するため、深層からの大規模な土壌反転は厳禁とする。

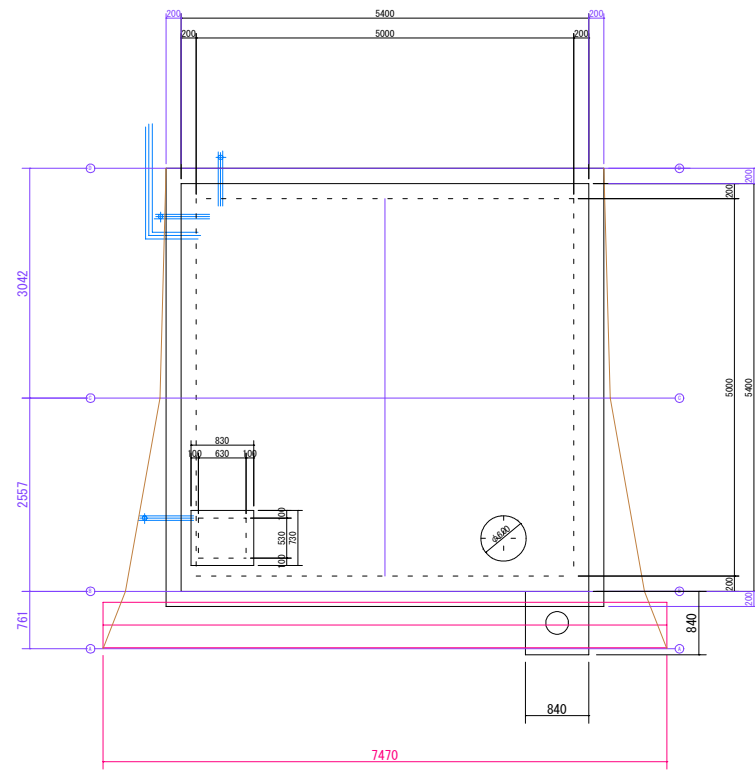
3. 施工および原状復旧における遵守事項  
 撤去に伴う掘削は必要最小限の範囲に留め、機械掘削による一括施工ではなく、状況に応じた手掘り併用等の慎重な工法を採用すること。

掘削および埋戻しの際は、表土と心土の混在を徹底して避けること。撤去完了後は、農地として適正な土壌環境へ構築に原状復旧（還元）を行うこと。

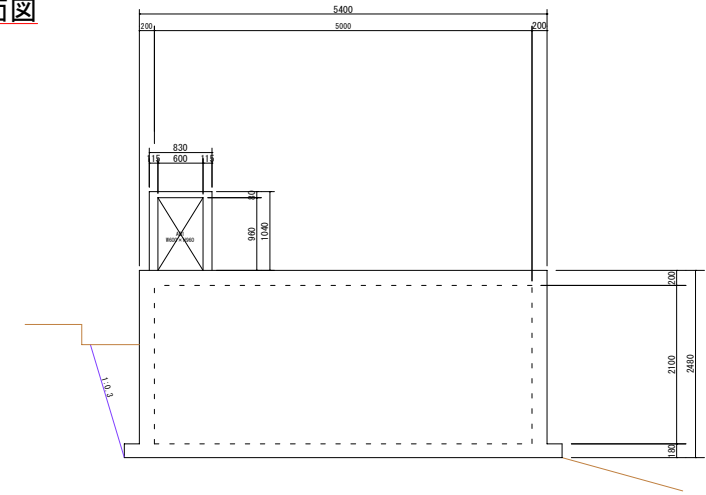
事業名	令和8年度 勝浦町簡易水道西岡地区及び山田区域旧施設解体工事	発注機関	勝浦町
図名	一般平面図	Scale	S=1/1000
図番	NO. 1 Total 3	設計年月日	

勝浦町上下水道課

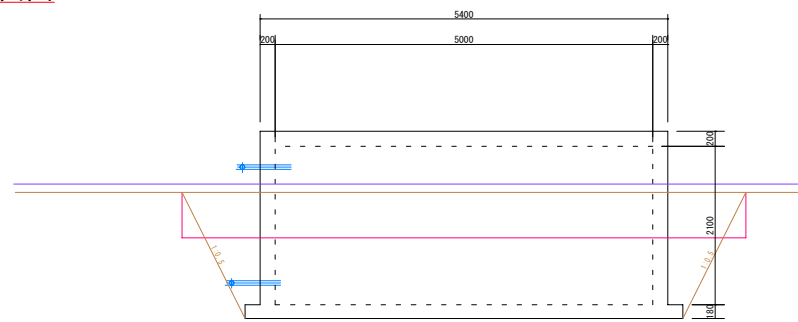
配水池  
平面图



立面图

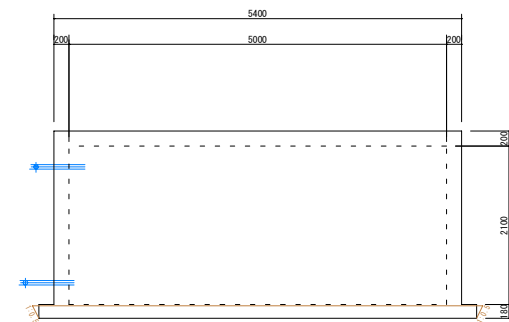


A-A立面图



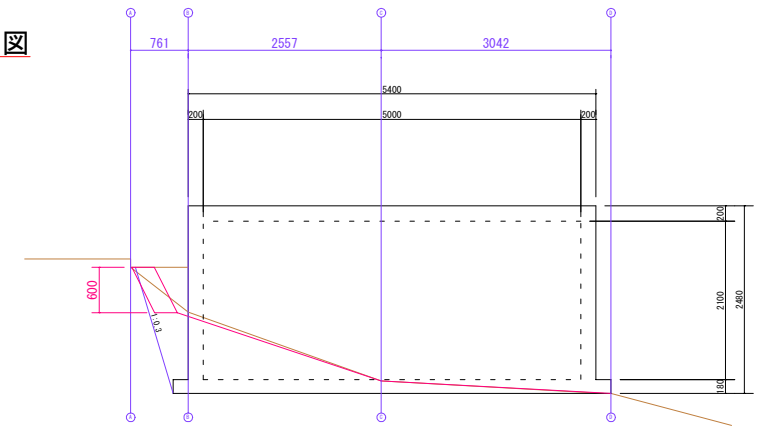
A-A		
掘	削	2.17 m <sup>3</sup>
埋	戻	6.74 m <sup>3</sup>

C-C立面图

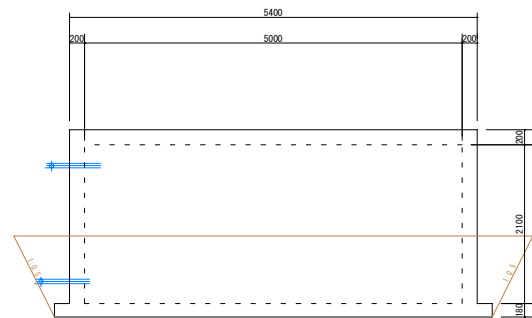


C-C		
掘	削	0.01 m <sup>3</sup>
埋	戻	0.96 m <sup>3</sup>

立面图

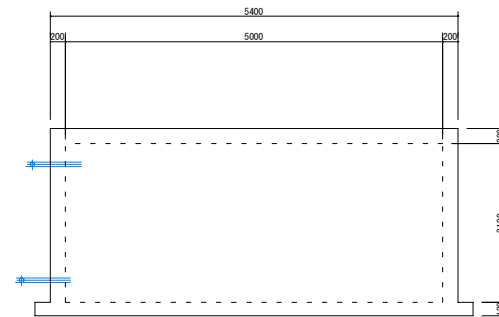


B-B立面图



B-B		
掘	削	0.93 m <sup>3</sup>
埋	戻	6.80 m <sup>3</sup>

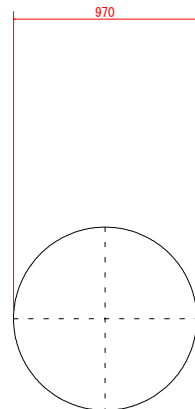
D-D立面图



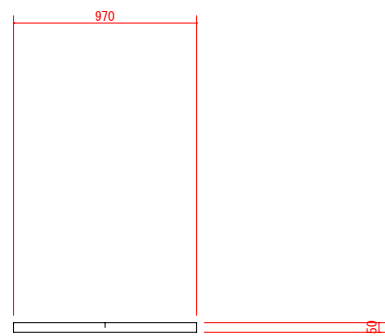
D-D		
掘	削	0.00 m <sup>3</sup>
埋	戻	0.00 m <sup>3</sup>

事業名	令和8年度 勝浦町簡易水道西岡地区及び山田区域旧施設解体工事	発注機関	勝浦町
図名	配水池取壊要領図	Scale	S=1:50
		設計年月日	
図番	NO. 2 Total 3	勝浦町上下水道課	

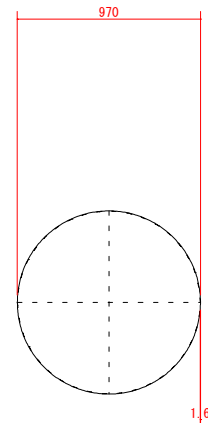
コンクリート蓋  
平面図



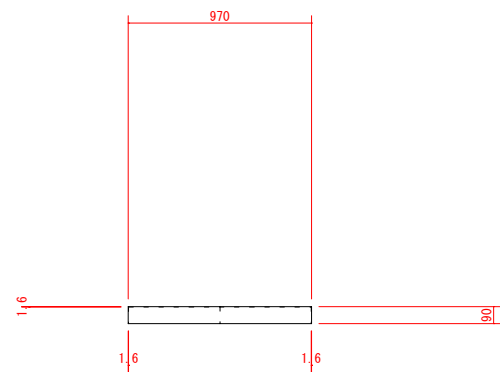
断面図



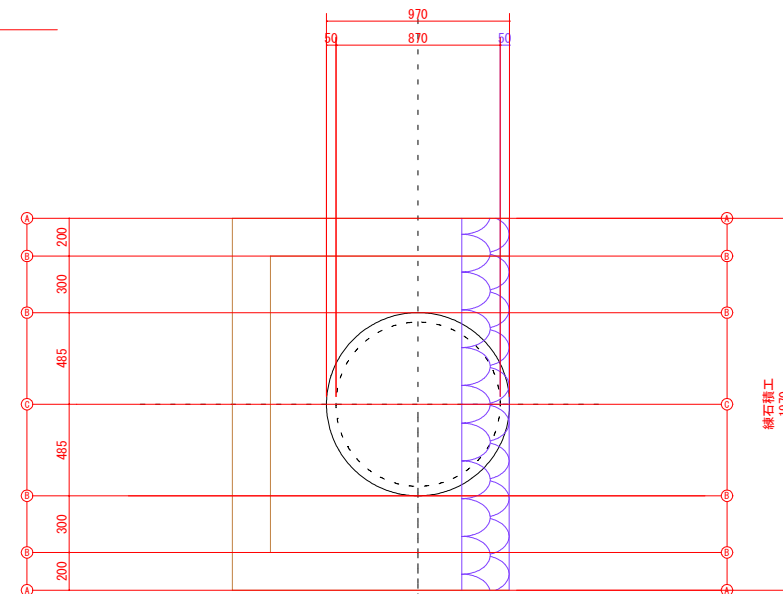
鋼製蓋  
平面図



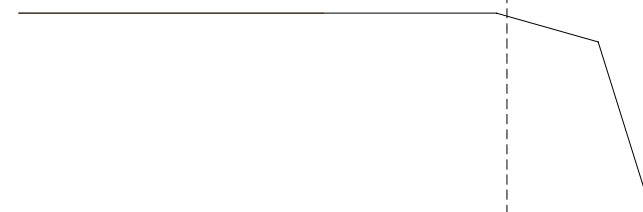
断面図



受水槽  
平面図

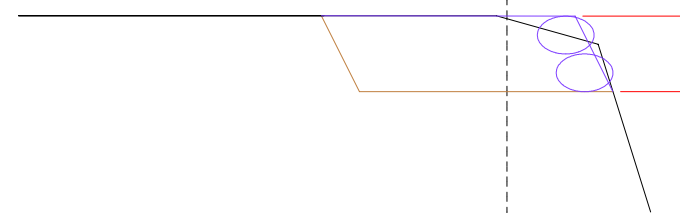


A-A断面図



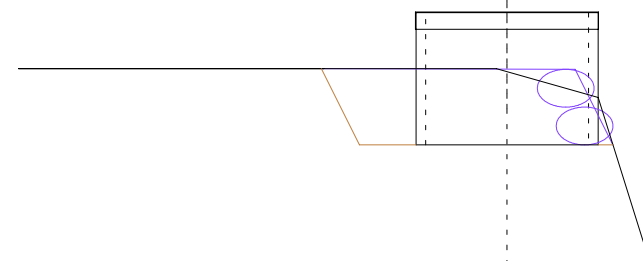
A-A	
掘削	0.00 m <sup>3</sup>
埋戻	0.00 m <sup>3</sup>

B-B断面図



B-B	
掘削	0.52 m <sup>3</sup>
埋戻	0.54 m <sup>3</sup>

C-C断面図



C-C	
掘削	0.17 m <sup>3</sup>
埋戻	0.54 m <sup>3</sup>

事業名	令和8年度 勝浦町簡易水道西岡地区及び山田区域旧施設解体工事	発注機関	勝浦町
図名	受水槽取壊要領図	Scale	S=1:20
		設計年月日	
図番	NO. 3 Total 3	勝浦町上下水道課	